

2024年3月期 第1四半期

クリモトグループ決算説明資料

目次

1. 2024年3月期 第1四半期実績

2. 2024年3月期 業績予想

3. トピックス

4. 株主還元

参考資料

1. 2024年3月期 第1四半期実績

1 - 1 決算概要

<連結>

(単位：百万円)

	2023.3 1Q 実績 (A)		2024.3 1Q 実績 (B)		前年比 (B-A)	2024.3 期初予想値※ (C)	
売上高	25,020	-	27,727	-	2,706	120,000	-
営業利益(率)	773	(3.1%)	1,235	(4.5%)	462	6,000	(5.0%)
経常利益(率)	715	(2.9%)	1,252	(4.5%)	537	6,000	(5.0%)
四半期純利益(率)	556	(2.2%)	923	(3.3%)	366	4,000	(3.3%)

※期初予想値 (C) : 2023年5月12日公表

売上高

新型コロナウイルス感染症による投資の手控えからの回復が進み、前年同期比 2,706百万円の増収。

営業利益

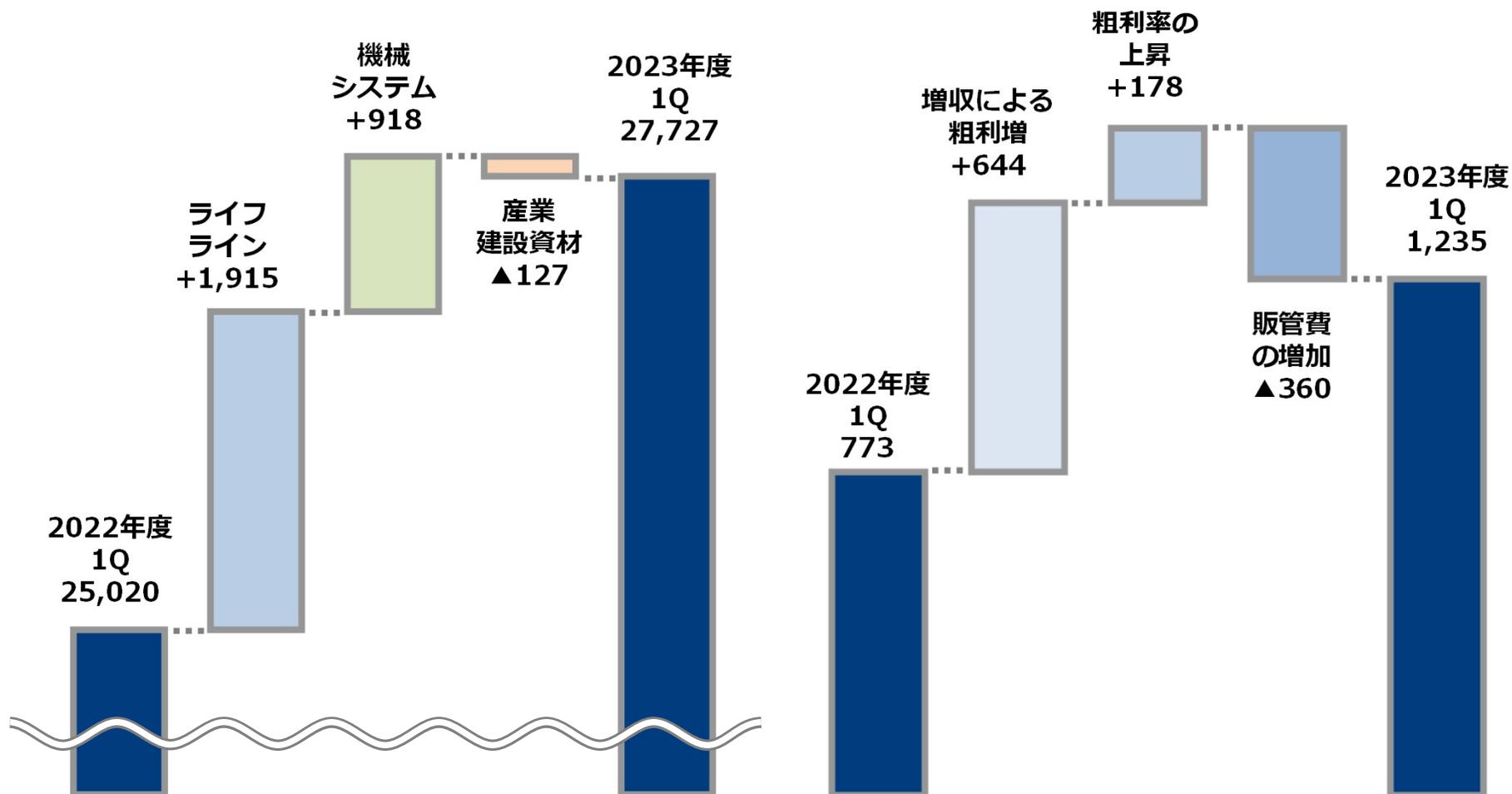
売上高増加にともなう粗利益増加や原価改善による影響などにより、前年同期比462百万円の増益。

1 - 2 売上高・営業損益比較

(単位：百万円)

売上高

営業利益



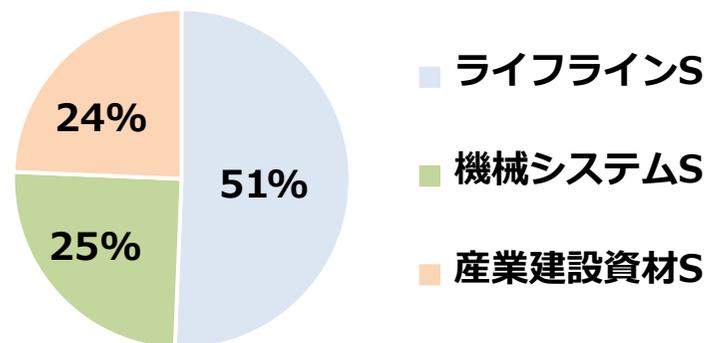
1 - 3 セグメント別業績

(単位：百万円)

		2023.3 1Q 実績 (A)	2024.3 1Q 実績 (B)	前年比 (B-A)
ライフライン セグメント	売上高	12,136	14,052	1,915
	営業利益	447	913	465
	(率)	(3.7%)	(6.5%)	(2.8pts)
機械システム セグメント	売上高	6,002	6,921	918
	営業利益	108	308	200
	(率)	(1.8%)	(4.5%)	(2.7pts)
産業建設資材 セグメント	売上高	6,881	6,753	▲ 127
	営業利益	234	321	87
	(率)	(3.4%)	(4.8%)	(1.4pts)

※営業利益合計額は調整額を含んでいるため、セグメント利益の合算値とは合致しません。

セグメント別売上高構成比率



※2024.3 1Q 実績 (連結)

1 - 4 事業セグメント別概況

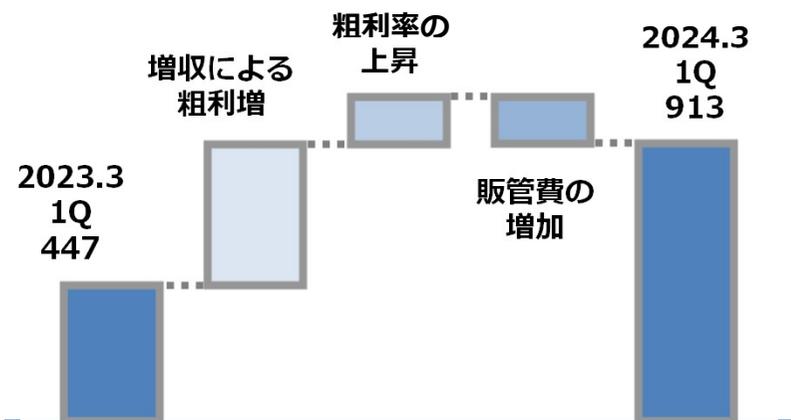
ライフラインセグメント

(単位：百万円)

	2023.3 1Q 実績 (A)	2024.3 1Q 実績 (B)	前年比 (B-A)	2024.3 期初予想値※ (C)
売上高	12,136	14,052	1,915	59,200
営業利益	447	913	465	3,200
(率)	(3.7%)	(6.5%)	(2.8pts)	(5.4%)

※2024.3期初予想値 (C) : 2023年6月7日公表「2023年3月期決算説明資料」

営業利益増減内訳 (連結)



事業セグメント別売上高・営業利益

売上高

官需分野の需要は底堅く、パイプシステム部門およびバルブ部門ともに売上が増加したことなどにより、前年同期比1,915百万円の増収

営業利益

パイプシステム部門およびバルブ部門ともに増収となったことにより、前年同期比465百万円の増益

1 - 4 事業セグメント別概況

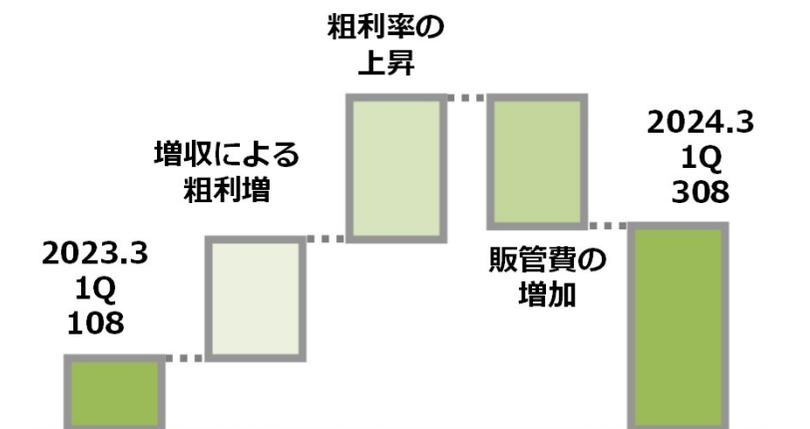
機械システムセグメント

(単位：百万円)

	2023.3 1Q 実績 (A)	2024.3 1Q 実績 (B)	前年比 (B-A)	2024.3 期初予想値※ (C)
売上高	6,002	6,921	918	31,800
営業利益	108	308	200	1,600
(率)	(1.8%)	(4.5%)	(2.7pts)	(5.0%)

※2024.3期初予想値 (C) : 2023年6月7日公表「2023年3月期決算説明資料」

営業利益増減内訳 (連結)



事業セグメント別売上高・営業利益

売上高

機械部門において粉体機器・プレス機器の売上が増加したことなどにより、前年同期比918百万円の増収

営業利益

機械部門が増収となった影響などにより、前年同期比200百万円の増益

1 - 4 事業セグメント別概況

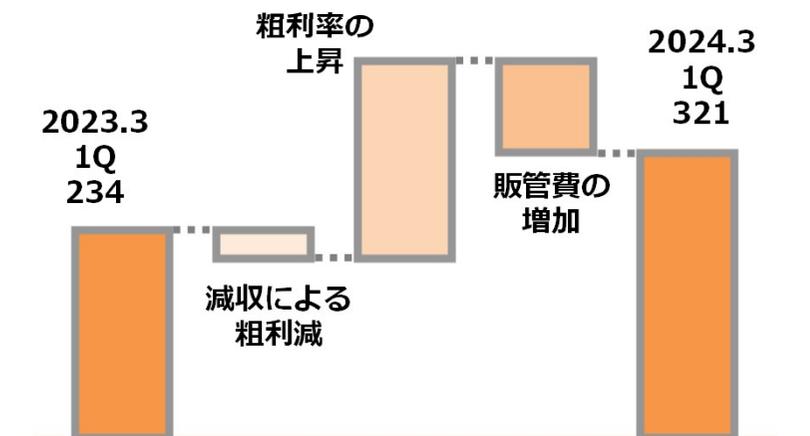
産業建設資材セグメント

(単位：百万円)

	2023.3 1Q 実績 (A)	2024.3 1Q 実績 (B)	前年比 (B-A)	2024.3 期初予想値※ (C)
売上高	6,881	6,753	▲ 127	29,000
営業利益	234	321	87	1,200
(率)	(3.4%)	(4.8%)	(1.4pts)	(4.1%)

※2024.3期初予想値 (C) : 2023年6月7日公表「2023年3月期決算説明資料」

営業利益増減内訳 (連結)



事業セグメント別売上高・営業利益

売上高

建材部門においては消音製品・土木関連製品等の売上が減少したことなどにより、化成品部門においては下水道向け製品やFRP製検査路の売上が減少したことなどにより、前年度比127百万円の減収

営業利益

建材部門・化成品部門がともに減収となったものの、原価改善による影響もあり、前年度比87百万円の増益

2. 2024年3月期 業績予想

2 - 1 2024年3月期 業績予想

(単位：百万円)

連結	2023.3 実績 (A)		2024.3 予想 (B)		前年比 (B-A)	
売上高	124,827	-	120,000	-	▲ 4,827	-
営業利益(率)	6,840	(5.5%)	6,000	(5.0%)	▲ 840	(▲0.5pts)
経常利益(率)	6,868	(5.5%)	6,000	(5.0%)	▲ 868	(▲0.5pts)
当期純利益(率)	4,727	(3.8%)	4,000	(3.3%)	▲ 727	(▲0.5pts)
ROE	-	(6.9%)	-	(5.5%)	-	(▲1.4pts)

売上高・各利益項目ともに好調であった前年度実績と比較し、減収減益の見込み

2-2 2024年3月期 業績予想 (セグメント別)

(単位：百万円)

連結		2023.3 実績 (A)	2024.3 予想 (B) ※1	前年比 (B-A)	2024.3 中計当初計画 (C) ※2	計画修正 (B-C)
ライフライン セグメント	売上高	60,879	59,200	▲ 1,679	55,500	3,700
	営業利益	3,679	3,200	▲ 479	2,800	400
	(率)	(6.0%)	(5.4%)	(▲ 0.6pts)	(5.0%)	(0.4pts)
機械システム セグメント	売上高	34,102	31,800	▲ 2,302	29,700	2,100
	営業利益	2,208	1,600	▲ 608	1,100	500
	(率)	(6.5%)	(5.0%)	(▲ 1.5pts)	(3.7%)	(1.3pts)
産業建設資材 セグメント	売上高	29,845	29,000	▲ 845	34,800	▲ 5,800
	営業利益	1,404	1,200	▲ 204	1,600	▲ 400
	(率)	(4.7%)	(4.1%)	(▲ 0.6pts)	(4.6%)	(▲ 0.5pts)

ライフラインセグメント

潜在需要はあるものの、物価上昇による市場の購買力低下により減収減益の見込み

機械システムセグメント

原材料コストなどの高騰による市場回復懸念に加え、地政学的リスクなどの影響や2022年度の売上の大幅増加による反動などにより、減収減益の見込み

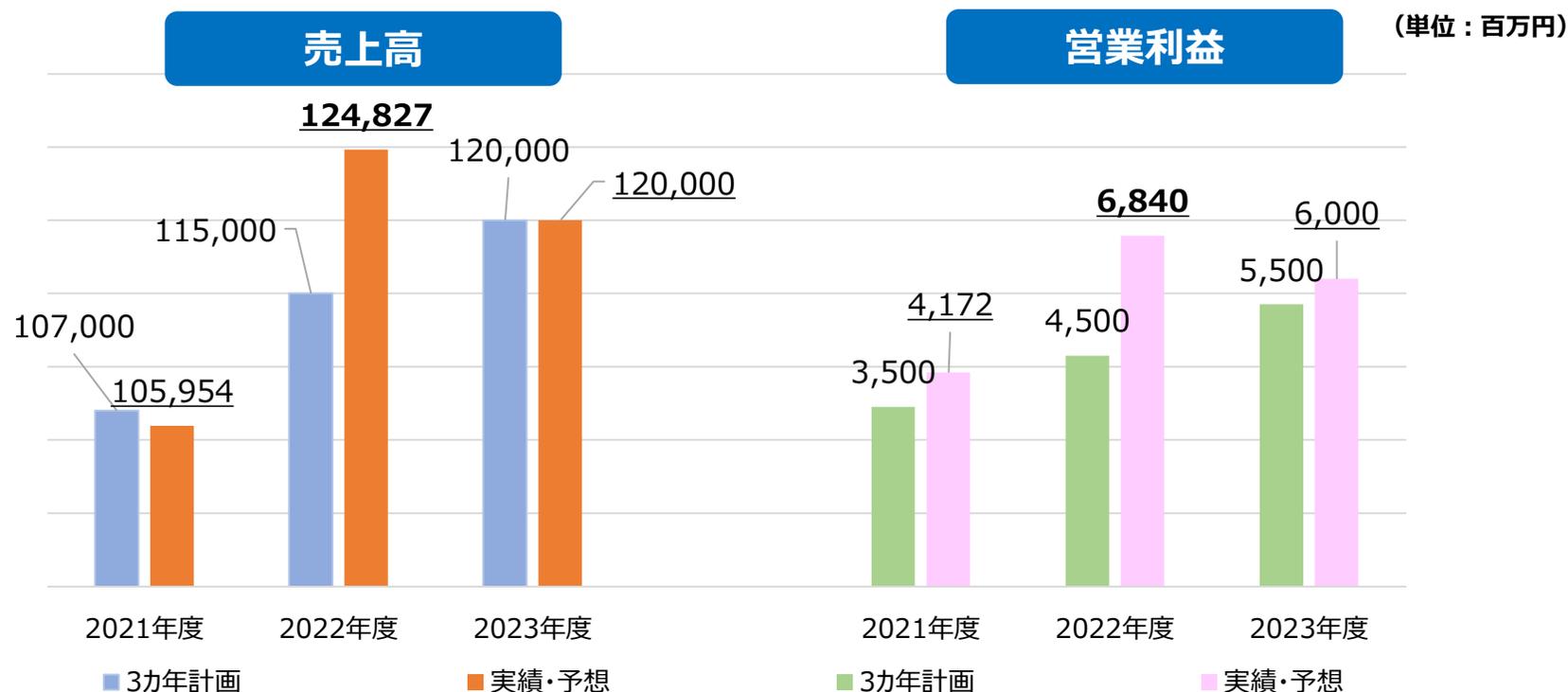
産業建設資材セグメント

地方での建設投資の戻りの遅れや、原材料コストなどの高騰により減収減益の見込み

※1 2023年5月12日現在の予想数値 ※2 2021年5月27日公表「クリモトグループ中期3カ年経営計画2021～2023」

※営業利益合計額は調整額を含んでいるため、セグメント利益の合算値とは合致しません。

2-3 中期3カ年経営計画との比較



- 2023年度は「前年度実績比」は減収減益と予想するが、中期3カ年経営計画の「当初計画値比」は、売上高は計画通り、営業利益は計画を上回る見込み
- 中期計画は2021年度の売上高実績を除き、すべて目標を達成する見込み
- 中期計画値に対する累計達成率は、売上高が103%、営業利益が126%の見込み

3. トピックス

3-1 トピックス

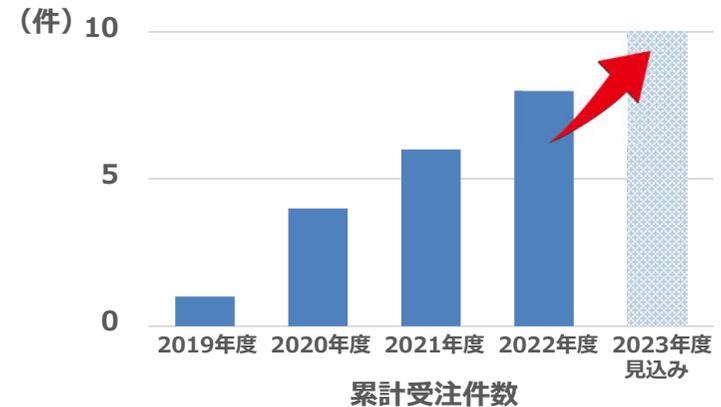
✓上水道管路DB (Design Build) 方式 大型案件の受注獲得

クリモトグループで累計受注件数9件を達成
信頼とノウハウを着実に蓄積し、さらなる受注獲得を目指す

＜受注実績＞

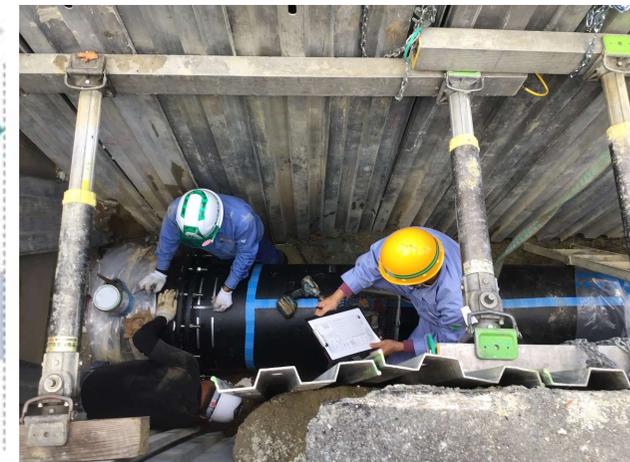
北海道 千歳市

- ・北海道内初のDB方式による管路布設
- ・概算契約金額 13.8億円 (税込)



参考：従来方式と管路DBの違い

■発注フロー 「設計」と「施工」を一括発注することにより、発注者と受注者の双方の業務を効率化!



※Design Build (= 設計・施工一括発注方式) ※受注案件詳細は参考資料を参照

3-2 トピックス

✓油圧式コーンクラッシャ「プレージコーン」ラインナップ拡充

新たに小型機と大型機をラインナップに加え、

3種→10種に拡充したことにより、多様な要望への対応が可能に

〈特長〉

- ・生産性の向上に貢献
油圧制御により、運転中の間隙自動調整が可能
生産時間の短縮・エネルギーコストの削減
- ・小さなサイズで大きな能力
能力範囲が広く、ワンサイズ小さな機種を選定が可能
- ・メンテナンスの省力化
ウェッジロック機構、横軸駆動方式を採用



自動負荷調整システム タッチパネル画面



プレージコーン

4. 株主還元

4-1 自己株式の取得および消却

株主還元策の一つとして、4年ぶりに自己株式取得および消却を実施予定

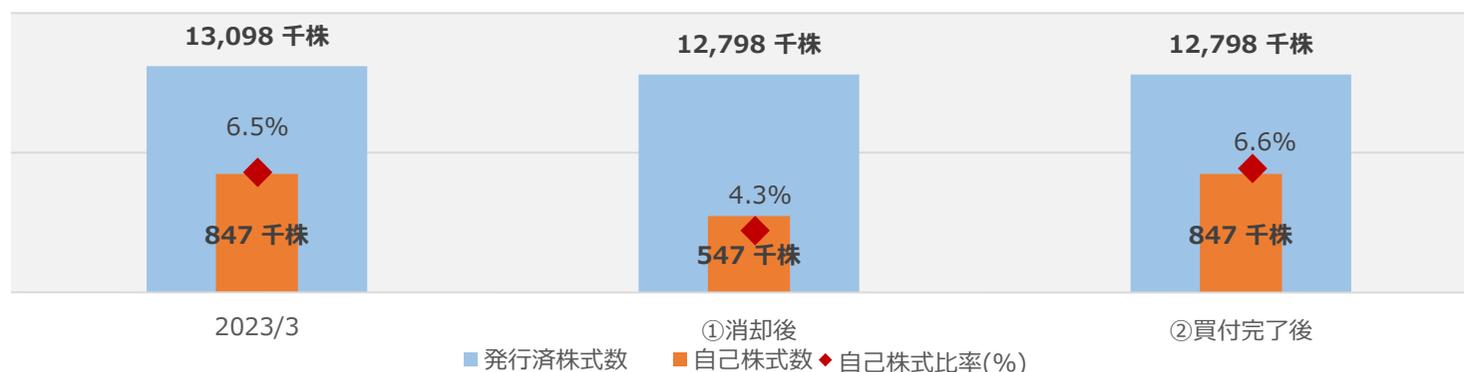
・取得に関する内容

取得する株式の総数	30万株（上限）
発行済株式総数（自己株式を除く）に対する割合	2.45%
株式の取得価額の総額	7億円（上限）
取得期間	2023年8月7日～12月22日

・消却に関する内容

消却する株式の総数	30万株（上限）
消却前発行済株式総数に対する割合	2.29%
消却予定日	2023年8月31日
消却後の発行済株式総数	12,798,490株

（参考）発行済み株式数および自己株式数

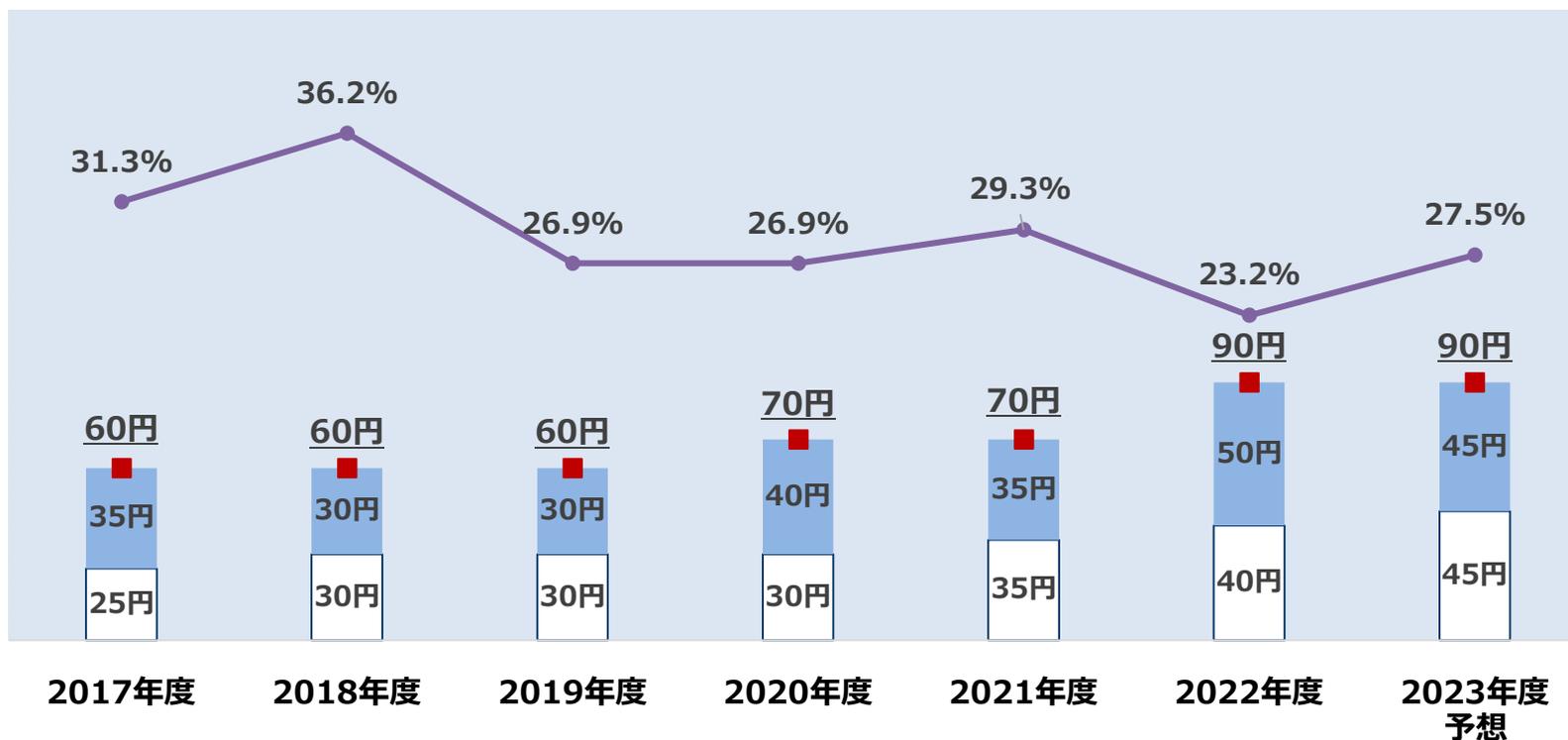


4-2 株主還元に関する指標

成長投資とのバランスを鑑みながらステークホルダーの皆様の期待に応えるべく、配当性向30%超を目指しつつ、安定した株主還元を実施してまいります。

一株あたり配当額・配当性向推移(連結)

■ 期末配当額 (円) □ 中間配当額 (円) ■ 年間配当総額 (円) ● 年間配当性向 (%)



参考資料

参考資料 1 会社概要



創立：
1909年2月2日（明治42年）

設立：
1934年5月10日（昭和9年）

代表者：
代表取締役社長 菊本 一高

資本金：
311億円（2023年3月末現在）

従業員数：
2,107名（2023年3月末現在、連結）
1,327名（2023年3月末現在、単体）

参考資料 1 会社概要

事業所：

○工場・物流拠点（計13か所）

大阪府内4か所

滋賀県、茨城県など

○国内営業拠点（8か所）

大阪、東京、札幌、仙台、

名古屋、広島、福岡、沖縄

○海外拠点（2か所）

ヨーロッパ事務所（ドイツ）、

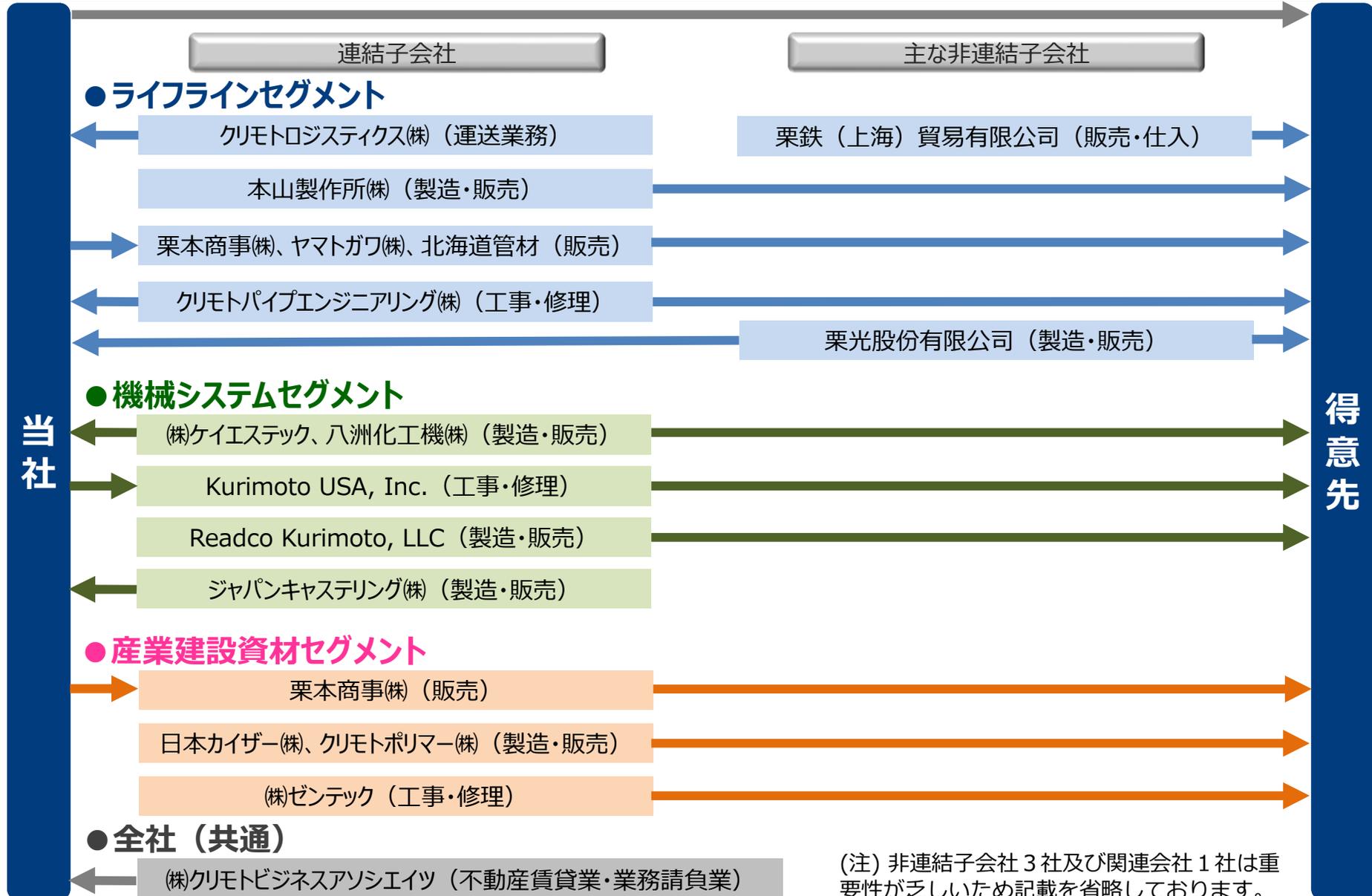
ジャカルタ事務所（インドネシア）



関係会社：

栗本商事(株)、ヤマトガワ(株)、(株)本山製作所、(株)ケイエステック、
 ジャパンキャスティング(株)、Readco Kurimoto、Kurimoto USA<米国>、
 栗鉄（上海）貿易有限公司<中国>など 計21社

参考資料 1 会社概要



(注) 非連結子会社 3 社及び関連会社 1 社は重要性が乏しいため記載を省略しております。

参考資料 1 会社概要

経営理念

私たちは、全てのステークホルダーの期待と信頼に応え、常に最適なシステムを提供し、『夢ある未来』を創造します。

～社会インフラ・産業インフラへの最適なシステムの提供～

経営方針

よんぽう

「四方よし」の精神で、将来にわたって社会へ貢献できる企業グループを目指す。

参考資料2 事業ドメイン

社会 インフラ

上下水道、道路、通信、交通など
人・生活において基盤となる施設



メーカーの生産活動に必要な
機械、プラントなどの製造設備



産業設備

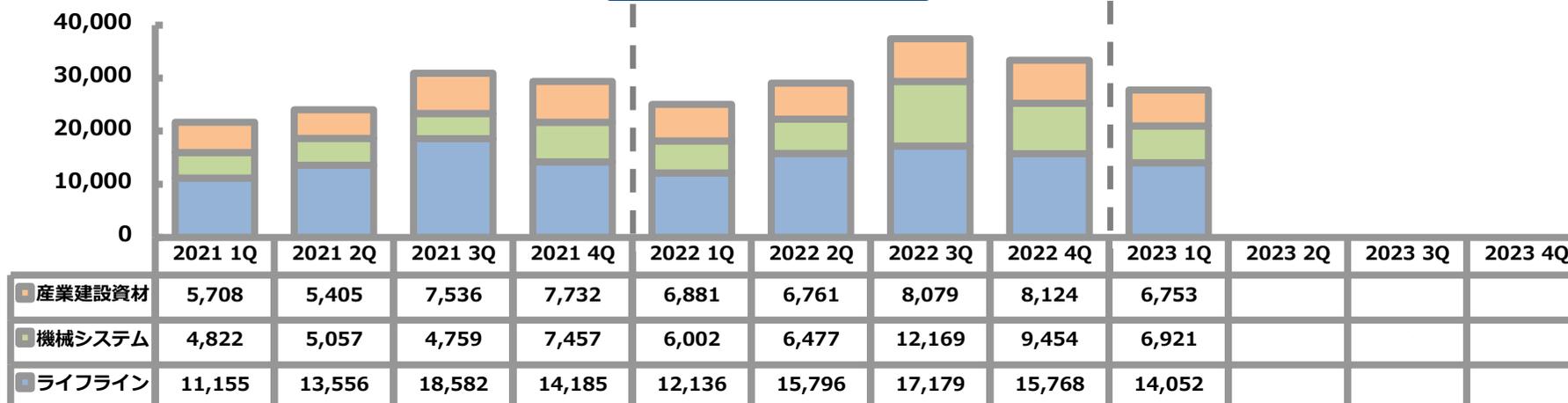
参考資料3 事業部門の構成と主な製品（単体）

事業セグメント	主な事業ドメイン	事業部	主な製品	主な需要先
ライフラインセグメント		パイプシステム	ダクタイル鉄管類	水道事業体
		バルブシステム	水道用バルブ、産業バルブ	水道事業体、製鉄・電力等各種プラント、ポンプメーカー
機械システムセグメント		機械システム	鍛造プレス	自動車関連メーカー
			粉体処理機	カーボン、エンブラ、二次電池関連メーカー 他
			プラントエンジニアリング	プラントエンジニアリング企業
		素形材エンジニアリング	耐摩耗鋳物、破碎機	鉄鋼、セメント、電力、環境、砕石関連企業
産業建設資材セグメント		建材	建築資材	管材商社、空調設備業者、ゼネコン等
		化成品	FRP(M)製品	国・地方公共団体、電力会社、ゼネコン、フィルム関連メーカー

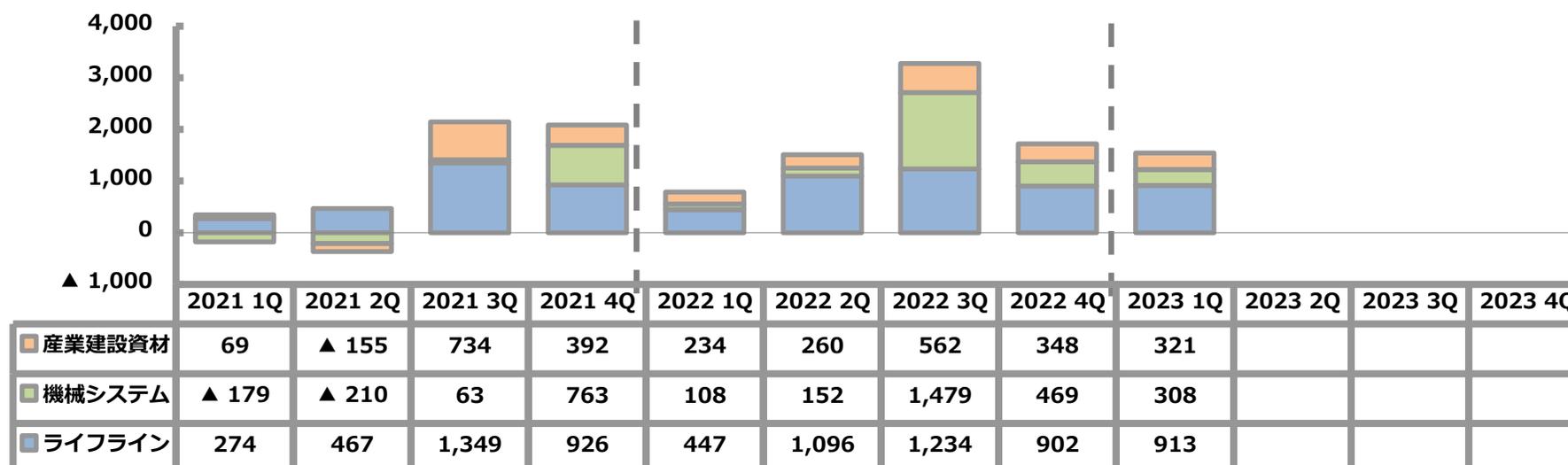
参考資料4 セグメント別四半期業績推移 (連結)

売上高

(単位：百万円)



営業利益

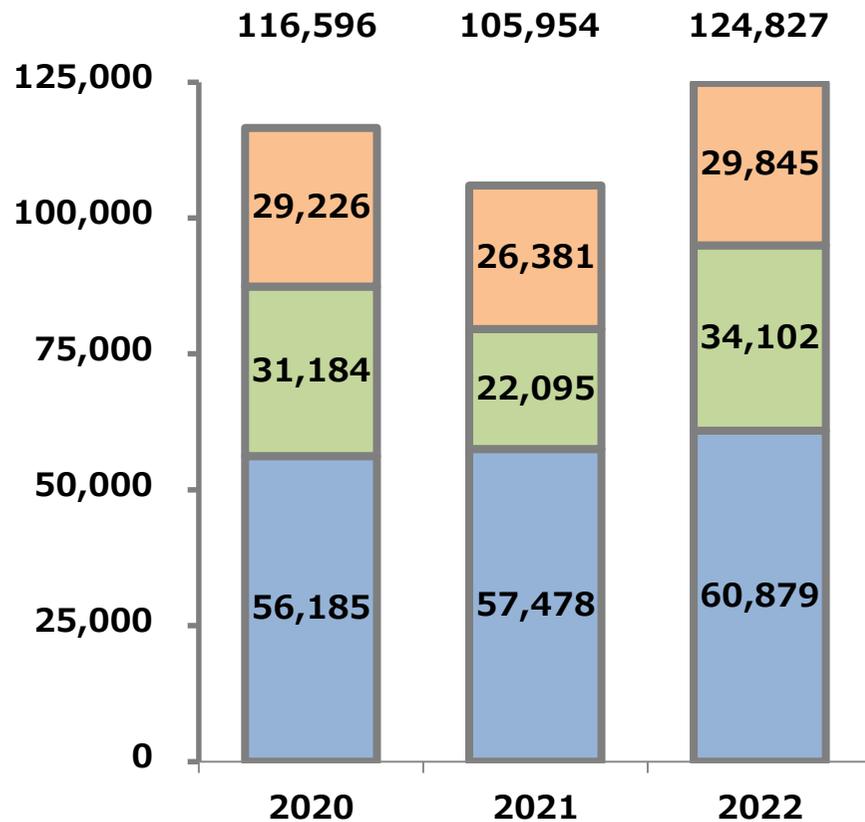


※営業利益合計額は調整額を含んでいるため、セグメント利益の合算値とは合致しません。

参考資料5 セグメント別業績推移

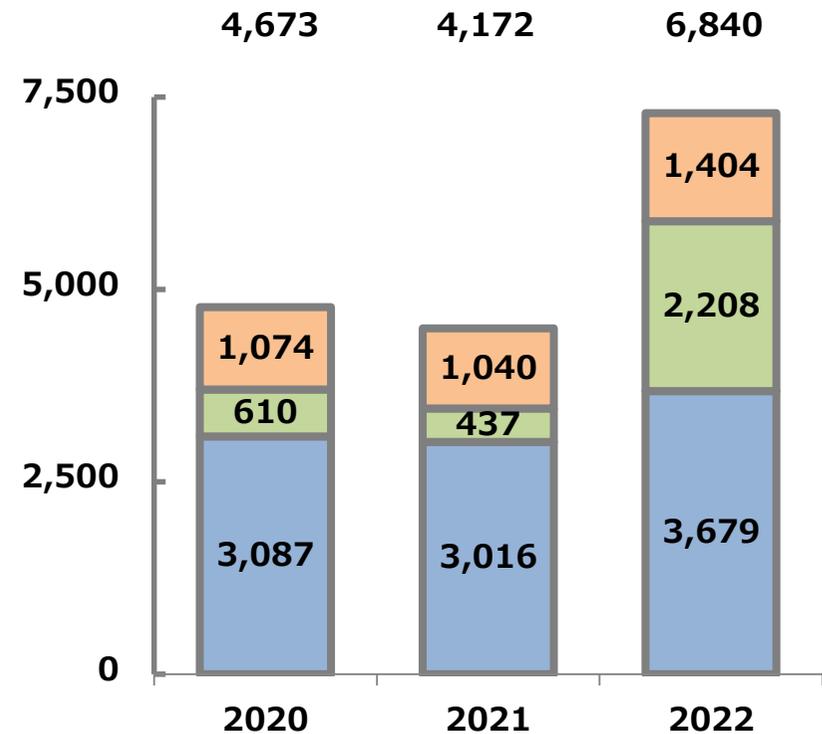
(単位：百万円)

売上高



■ ライフライン ■ 機械システム ■ 産業建設資材

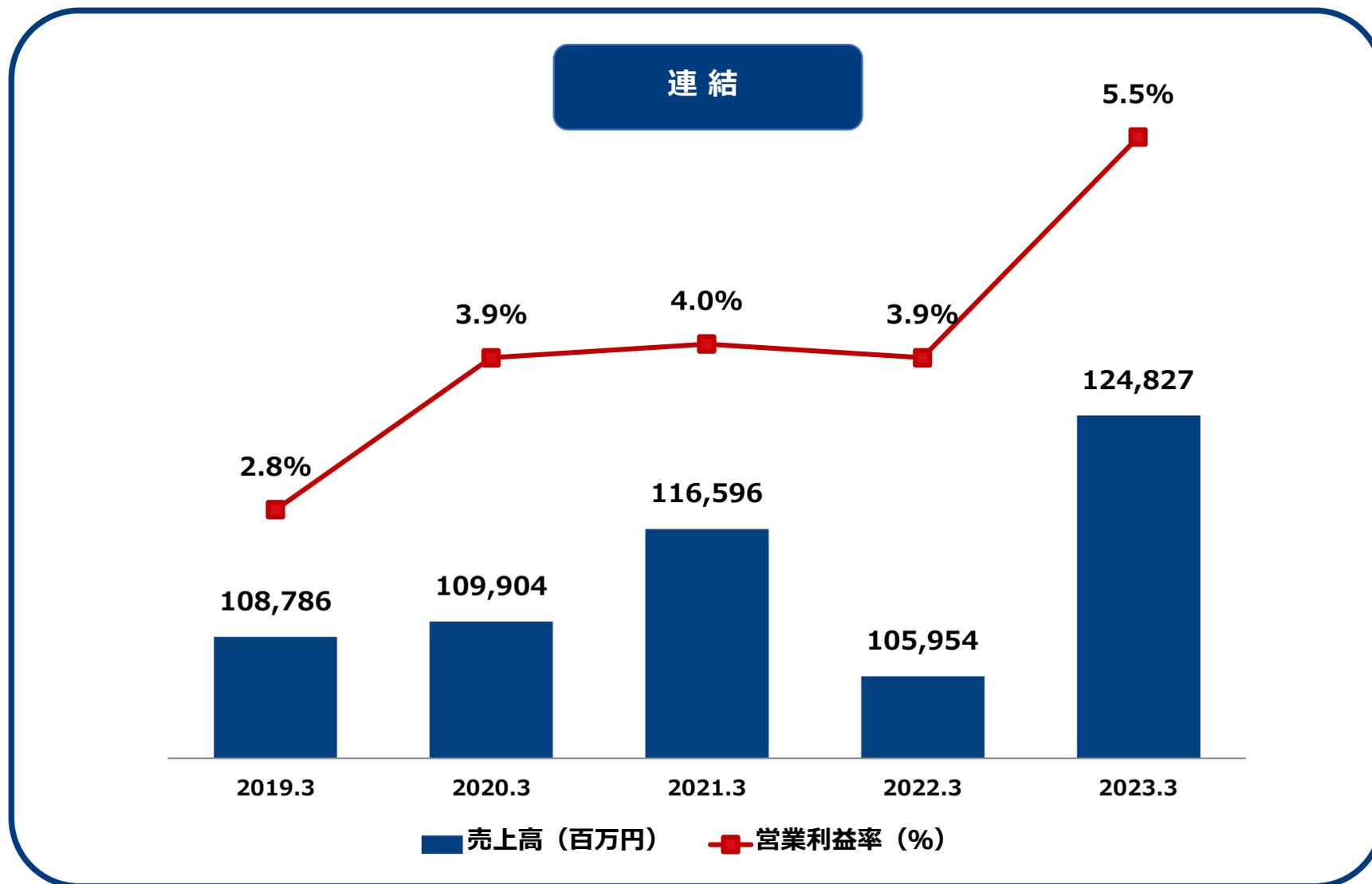
営業利益



■ ライフライン ■ 機械システム ■ 産業建設資材

※営業利益合計額は調整額を含んでいるため、セグメント利益の合算値とは合致しません。

参考資料6 売上・営業利益率推移（連結）



参考資料7 水道管路DB方式 受注実績

● 水道管路DB（設計・施工一括発注）方式 主な受注実績

No.	ご発注者	受注	竣工	事業名称	契約者	事業規模
1	長野県 小諸市	2019年度	2022年度	送配水管更新業務 (丸山排水池～坂の上配水池)	栗本鐵工所	3.9億円
2	大阪府 泉佐野市	2020年度	2022年度	泉佐野市日根野浄水場他 管路更新業務	栗本鐵工所・泉佐野市水道組合 特定建設工事共同企業体	3.1億円
3	兵庫県 神戸市	2020年度	(予定) 2023年度	中央(東町他)配水本管取替事業	栗本鐵工所・港建設・安藤建設 特定建設工事共同企業体	6.2億円
4	奈良県 広陵町	2020年度	2021年度	広陵町馬見南配水本管布設 耐震設計・施工業務	栗本・潮技術コンサル 共同企業体	2.5億円
5	奈良県 広陵町	2021年度	(予定) 2024年度	広陵町配水本管布設 耐震設計施工業務	村本・栗本・潮技術コンサル 共同企業体	5.4億円
6	岐阜県中津川市	2021年度	(予定) 2024年度	中津川駅周辺管路更新事業	クリモト エンジニアリング ・ 保母興産・新日本設計グループ	4.4億円
7	奈良県	2022年度	(予定) 2025年度	安堵連絡管第1工区整備事業	栗本・村本・潮技術コンサル 特定共同企業体	—
8	兵庫県 播磨町	2022年度	(予定) 2024年度	東本荘・新島地区基幹管路 布設替工事	栗本・潮技術コンサル 共同企業体	4.4億円
9	北海道 千歳市	2023年度	(予定) 2025年度	(5)美々地区外水道整備事業	栗本・舞鶴・新栄・日水コン 特定共同企業体	13.8億円

資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

問い合わせ先
株式会社栗本鐵工所 総合企画室
TEL:06-6538-7719
<https://www.kurimoto.co.jp>

KURIMOTO

KURIMOTO